

(19)日本国特許庁 (J P)

(12) 公 開 特 許 公 報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平8-187272

(43)公開日 平成8年(1996)7月23日

(51)Int.Cl.⁶

A 6 1 J 9/00

識別記号

E

庁内整理番号

F I

技術表示箇所

審査請求 未請求 請求項の数2 O L (全 3 頁)

(21)出願番号 特願平7-1164

(22)出願日 平成7年(1995)1月9日

(71)出願人 000252322

和光堂株式会社

東京都千代田区鍛冶町2丁目7番15号

(72)発明者 北沢 邦子

東京都調布市若葉町2-2 和光堂株式会
社統括研究所内

(72)発明者 小畑 紘一

東京都調布市若葉町2-2 和光堂株式会
社統括研究所内

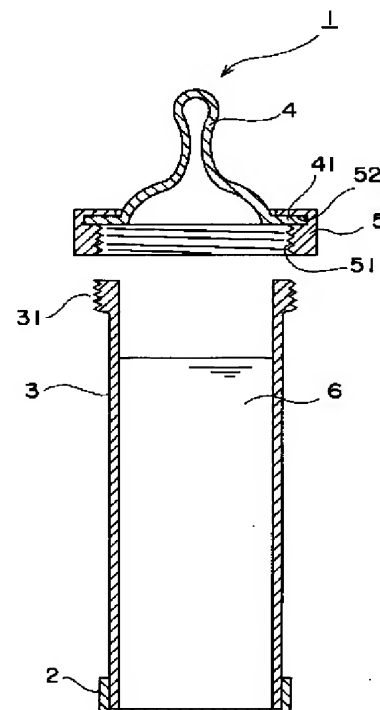
(74)代理人 弁理士 津国 肇 (外1名)

(54)【発明の名称】 底蓋着脱自在哺乳瓶

(57)【要約】

【目的】 汚れた哺乳瓶を洗浄し易くした、底蓋着脱自在な哺乳瓶を提供する。

【構成】 乳首部材4を保持する乳首ホルダー5と、哺乳筒3と、哺乳筒の開口底部と係合する着脱自在の底蓋2と、よりなる。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 乳首部材を保持する乳首ホルダーと、前記乳首ホルダーと噛合する哺乳筒と、前記哺乳筒の開口底端部と係合する着脱自在の底蓋と、よりなることを特徴とする哺乳瓶。

【請求項2】 前記哺乳筒の底端部外周面及び／または前記底蓋の内周面に凸部を設けた請求項1の哺乳瓶。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】本発明は哺乳瓶の洗浄を容易にするため、哺乳筒の底部を開口とし、ここに着脱自在の底蓋をした哺乳瓶に関する。

【0002】

【発明が解決しようとする課題】一般に、哺乳瓶は細長い筒形をしており、内周面特に、底部をきれいに洗浄することは容易ではない。そのため、洗浄を容易にする工夫が求められている。

【0003】

【課題を解決するための手段】本発明は、従来の哺乳筒の底部を開口とし、ここに底蓋を着脱自在にかぶせることにより、洗浄し易くしたものである。

【0004】すなわち、本発明の哺乳瓶は、乳首部材を保持する乳首ホルダーと、前記乳首ホルダーと噛合する哺乳筒と、前記哺乳筒の開口底端部と係合する着脱自在の底蓋と、よりなることを特徴とする。とくに、底蓋は弾力性プラスチックからなり前記哺乳筒の底端部の外周面及び／または前記底蓋の内周面に凸部を設けて哺乳筒に底蓋に係合したときの密閉性を完全にしている。哺乳筒は底部が開口し、プラスチック製またはガラス製で、さらに透明または半透明であり、外周面に液量を示す目盛りが付されている。

【0005】

【実施例】本発明を図面に基づいて説明する。図1は本発明の哺乳瓶の断面図である。底蓋2は、弾力性のあるプラスチックで形成された丸い蓋である。底蓋2は、後述する哺乳筒3の底端部に完全に係合し、哺乳筒3の中の飲料が係合部分から漏れることがない。

【0006】哺乳筒3は円筒状ガラスであり、底部が開口し、底蓋を着脱自在に係合することができ、底蓋に係合したとき密閉性が完全になるように装着される。哺乳筒3の上部外周縁に雄螺子31が形成されている。この雄螺子31と後述する乳首ホルダー5の雌螺子51とが噛合し、乳首部材4を確実に係合する。

【0007】乳首部材4は、シリコーンゴム製の従来公知のものである。

【0008】乳首ホルダー5には、例えば、乳首部材4の外周縁41を嵌合する凹嵌部52が内周縁に形成されている。さらに、哺乳筒3の雄螺子31に噛合する雌螺子51が内周縁に形成されている。前記凹嵌部52は、乳首部材4の外周縁を確実に保持し、嵌合する役割をす

るが、乳首部材4の外周縁を多少大きく形成し、乳首ホルダー5の凹嵌部52と隙間なく接合するように形成してもよい。乳首ホルダー5の内側の雌螺子51は、哺乳筒3の外側の雄螺子31と噛合し、これらを確実に係合する。さらに、乳首ホルダー5の雌螺子51と哺乳筒3の雄螺子31との締付力により、乳首部材4の外周縁41の下部と哺乳筒3の雄螺子31の上部とが接合し、密閉され、育児用乳液6または飲料が係合部分から漏れることがない。乳首ホルダー5の上部外周縁には、さらに、螺子または凹部を形成して、乳首部材4を保護するキャップと接合できるようにしてもよい。

【0009】図2は、底蓋2と哺乳筒3の係合部分を示す第1の実施例の断面図である。底蓋2は弾力性プラスチックにより成型される。底蓋2の先端は内側に折れ曲がっており、哺乳筒3の外周面と接触部21とが弾力的に圧接しており、さらに哺乳筒3の底端部と接触部22とが圧接している。このように二重の接触部21、22により底蓋2と哺乳筒3とが強力に係合しているため、育児用乳液6または飲料が係合部分から漏れることがなく、さらに、底蓋2を哺乳筒3に容易に着脱することができる。

【0010】図3は、底蓋2と哺乳筒3の係合部分を示す第2の実施例の断面図である。底蓋2は弾力性プラスチックにより成型される。底蓋2の断面はコの字状に曲がっている。哺乳筒3の底端部外周面には外側に飛び出た凸部33が形成されている。哺乳筒3の底端部外周面に凸部が形成されているため、弾力性のある底蓋2と容易に着脱し、確実に密着する。

【0011】図4は図3の哺乳筒3の凸部33の変形である。哺乳筒3の底端部外周面に凸部33及び33'を二段に設けたものである。この場合、底蓋2の内周面に哺乳筒3の凸部33及び33'の間に圧接する凸部23を設けることが好ましい。このように、底蓋2の凸部23と哺乳筒3の凸部33及び33'と圧接し、係合しているため、育児用乳液6または飲料が係合部分から漏れることがなく、さらに、底蓋2を哺乳筒3に容易に着脱することができる。

【0012】図5は、底蓋2と哺乳筒3の係合状態を示す第3の実施例の断面図である。底蓋2はプラスチックにより成型されるが、底蓋2の先端部内周面には雌螺子24が形成されている。哺乳筒3の底端部外周面には外側に雄螺子34が形成されている。哺乳筒3に底蓋2を噛合させることにより、容易に着脱し、確実に密着することができる。

【0013】

【発明の効果】従来の瓶本体を底蓋と哺乳筒に分け、底蓋を哺乳筒から取外し可能にしたため、哺乳筒を洗浄することが極めて容易になる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の底蓋着脱自在哺乳瓶の断面図である。

【図2】着脱部分を示す第1の実施例の断面図である。

【図3】着脱部分を示す第2の実施例の断面図である。

【図4】着脱部分を示す第2の実施例の変形例の断面図である。

【図5】着脱部分を示す第3の実施例の断面図である。

【符号の説明】

1 底蓋着脱自在哺乳瓶

2 底蓋

21 接触部

22 接触部

23 凸部

24 雌螺子

3 哺乳筒

31 雄螺子

32 目盛り

33、33' 凸部

34 雄螺子

4 乳首部材

41 乳首部材の外周縁

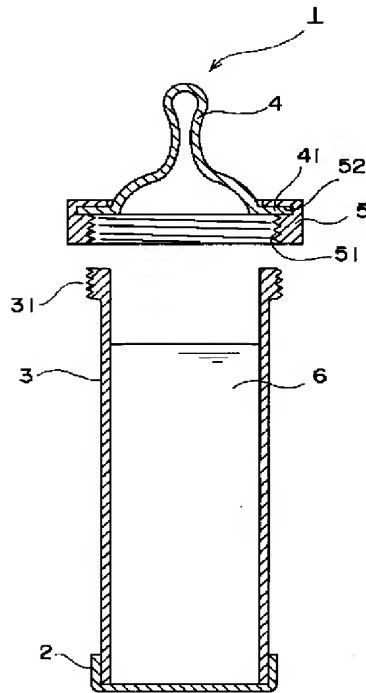
5 乳首ホルダー

51 雌螺子

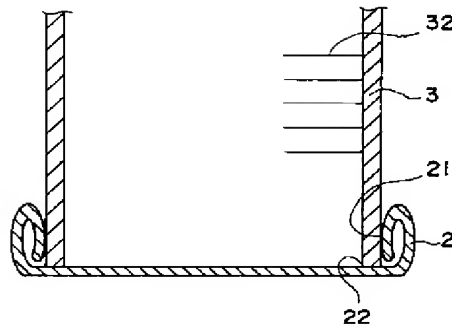
10 52 凹嵌部

6 育児用乳液または飲料

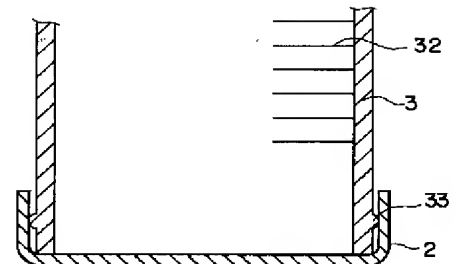
【図1】



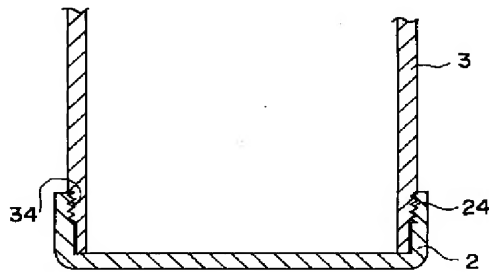
【図2】



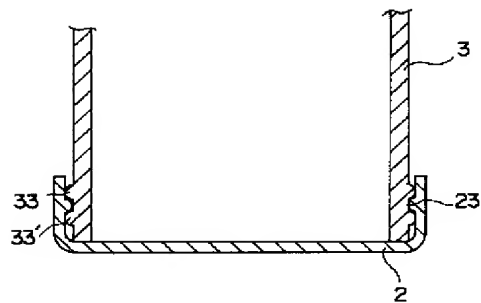
【図3】



【図5】



【図4】



PAT-NO: JP408187272A
DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 08187272 A
TITLE: FEEDING BOTTLE WITH
DETACHABLE BOTTOM LID
PUBN-DATE: July 23, 1996

INVENTOR-INFORMATION:

NAME	COUNTRY
KITAZAWA, KUNIKO	
OBATA, KOICHI	

ASSIGNEE-INFORMATION:

NAME	COUNTRY
WAKOUDOU KK	N/A

APPL-NO: JP07001164
APPL-DATE: January 9, 1995

INT-CL (IPC): A61J009/00

ABSTRACT:

PURPOSE: To provide a feeding bottle with a detachable bottom lid capable of removing the bottom lid from the feeding bottle shell and cleaning the feeding bottle shell extremely easily, by making the bottom part of the feeding bottle shell openable and the bottom lid freely detachably cover the bottom.

CONSTITUTION: The bottom of this feeding bottle shell 3 made of a plastic or glass, transparent or semi-transparent is openable, and the bottle shell 3 is put with a scale 32 to show the liquid quantity on the outer periphery face. The tip of a bottom lid 2 is bent inward and its periphery face is elastically pressed to a contact part 21 of the bottle shell 3, and the bottom end part of the feeding bottle shell is pressed to a contact part 22. Since the bottom lid 2 is doubly and strongly engaged with the feeding shell 3 by the two contact parts 21 and 22, milk or a drink to be fed is prevented from leaking out from the engaging part, and the bottom lid can be easily and detachably attached. The cross section of the bottom lid 2 is formed in a one-side-open rectangle to form a protrusion 33 protruded outward from the outer periphery face of the bottom end of the feeding bottle shell 3. Thus, the elastic bottom lid 2 can be easily detached from and securely be in contact with the elastic protrusion 33.

COPYRIGHT: (C)1996, JPO